

FH

SERIES

対震丁番

■用途：玄関ドア対震用

■納期：標準納期品 ● (P4 参照)

もしも、大きな地震でドアが開かなくなったら・・・

対震



美和ロックの対震丁番はこんな時も安心。
スプリングの柔軟性で地震に対応します。



内部構造をご覧いただくため、製品を加工した写真です。

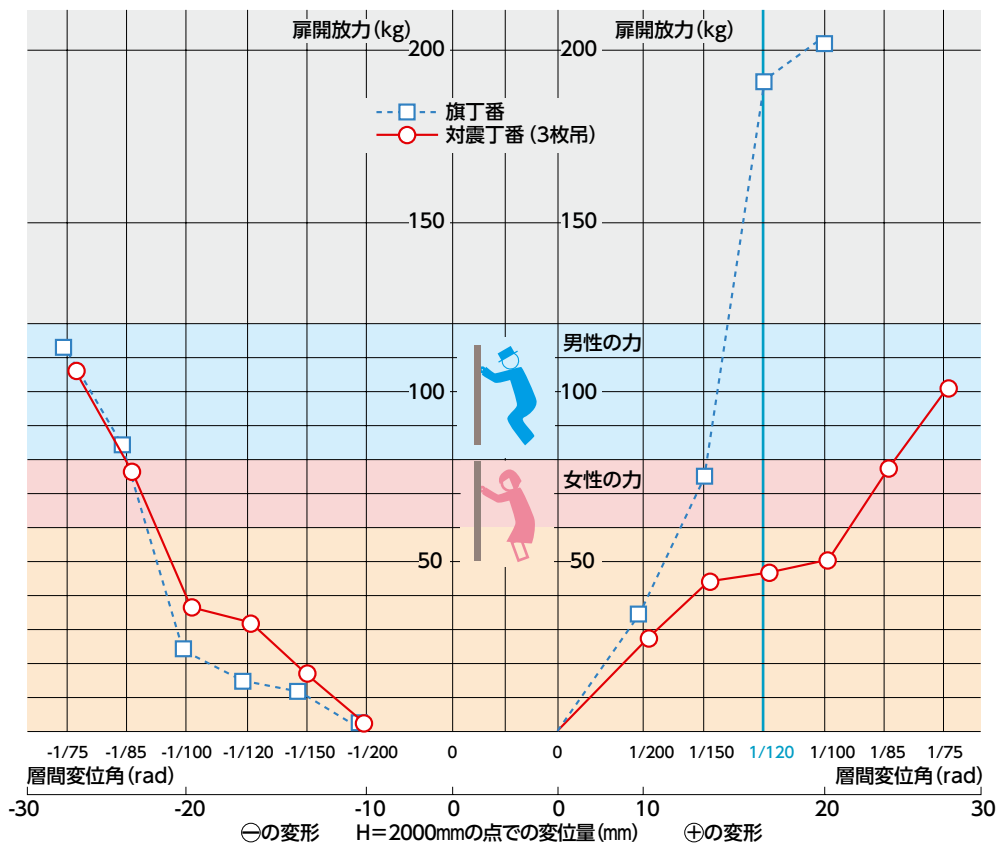
対震丁番を使ったドアは層間変形角 $1/120$ の変形^(注1)の時でも、ドアを開ける力は50Kg以下。^(注2) 女性でも開けられる力です。^(注3) 枠が変形して扉を下方に押し下げられる力がかかっても、対震丁番内のスプリングが縮み扉を開けることができます。

(注1) 層間変形角：地震の際建物の変形量を表す角度です。単位はラジアン。建築基準法では想定されている大きさの地震の際に、層間変形角が最大でも $1/120$ 以下になるように建築しなければならないと定められています。層間変形角が $1/120$ 以上となる変形があった場合には、ドアが開けられないことがあります。

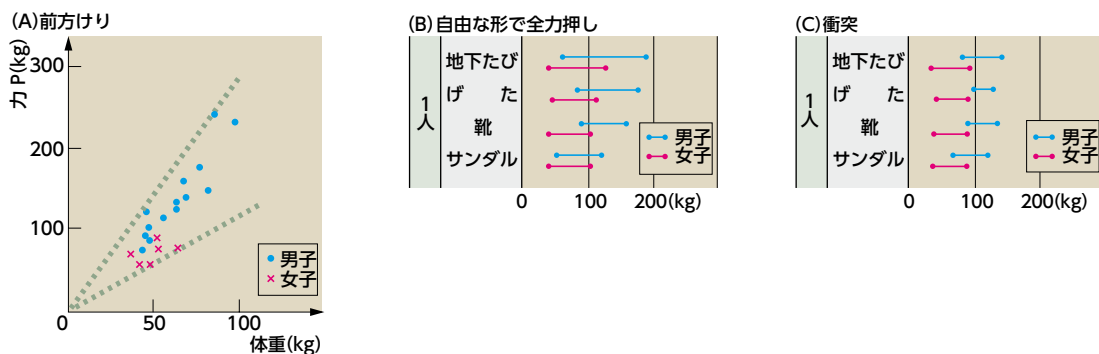
(注2) 扉寸法：幅800mm×高さ1,900mm
 扉と枠の隙間：上側3mm / 下側6mm
 上記の条件で行った当社の実験結果によります。

(注3) 一般的に扉を開ける場合に出すことのできる力は成人男子の場合 100～120kg、成人女子で60～80kgと考えられています。
 (建築学便覧による。下記データ参照)

旗丁番と対震丁番の当社製品の比較データ (面内変形追従性試験)



人圧データ (建築学便覧より)



FH SERIES 対震丁番

■用途：玄関ドア対震用 ■納期：標準納期品● (P4参照)

対震

■材質／仕上

18-8ステンレス(SUS304) ・ステンレスヘヤーライン仕上(記号ST)
 ・セラミックブロンズ仕上(記号CB)

■種類

		右勝手用	左勝手用
2枚吊用	A型	FH-A1R	FH-A1L
	B型	FH-B1R	FH-B1L
3枚吊用	A型	FH-A2R	FH-A2L
	B型	FH-B2R	FH-B2L

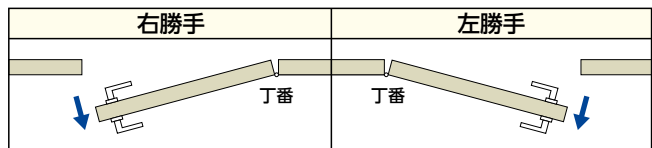
(注) どちらのタイプも重量50kg以下のドア(錠前、クローザの重さ含む)にご使用ください。

■対震丁番使用枚数の例

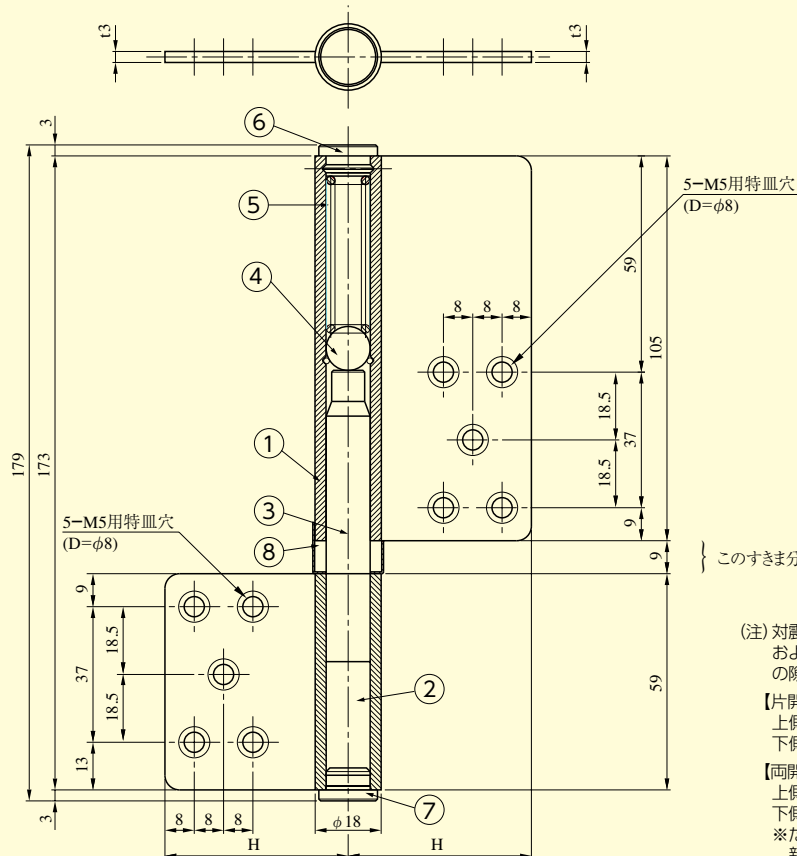
名称	対象扉		対震丁番枚数
	高さ×幅×厚さ(mm)	重量(kg)	
片面フラッシュ扉	1,921×823×36	約35	3
両面フラッシュ扉	1,921×823×35	約40	3
片面フラッシュ扉 (旧KJ-1型プレスドア)	1,921×823×36	約35	2

■左右勝手の見方

対震丁番の左右勝手は、下記のようにご指示ください。



丁番の軸が扉の開く側から見て右側に見える……右勝手
 丁番の軸が扉の開く側から見て左側に見える……左勝手



(注) 対震丁番をご使用になる場合は、ラッチボルトおよびデッドボルトとストライクの穴との上下の隙間が十分あることが必要です。

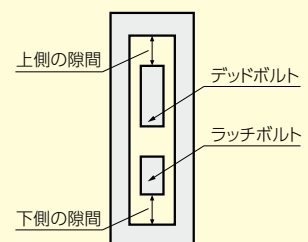
【片開き扉の場合】

上側の隙間：上チリ+1mm以上
 下側の隙間：下チリ+1mm以上

【両開き扉の場合】

上側の隙間：上チリ+下チリ+1mm以上
 下側の隙間：上チリ+下チリ+1mm以上
 ※ただし、子扉側には対震丁番は不要です。
 親扉側にご使用ください。

(例) ストライク



No.	名称
1	メス羽根
2	オス羽根
3	軸
4	ボール
5	スプリング
6	フタ
7	フタ
8	カラー

この丁番の取付穴ピッチは、既存BLドアに使われる旗丁番と全く同じです。

FH-A型の場合 H=45
 FH-B型の場合 H=50